

## 緩和ケアチームにおける薬剤師の仕事

### カンファレンス

緩和ケアとは、身体的な苦痛のみならず、患者さまの精神的・社会的負担などにも目を向け、疾患の早期から苦痛を和らげるためのケアです。そのため、週に 1 回、医療用麻薬を使用している患者さまや緩和ケアチームに依頼のあった患者さまなどを対象とし、医師、認定看護師、薬剤師、栄養師などでカンファレンスを行い、患者さまの病状や生活面での状態などの情報を共有することで、患者さまに寄り添ったケアができるよう努めています。

### 疼痛管理

疼痛管理には、医薬品が担う役割はとて大きく、高度な専門技術と知識が必要であり、患者さまに合わせた鎮痛薬の選択は緩和ケアにおいて、とても重要になってきます。使用する患者さまの疼痛の強さや種類、病状など様々な情報を考慮して選択します。また、鎮痛薬の使用にあたって、適切な服薬指導や副作用のマネジメントも必要になってきます。特に医療用麻薬などが開始になった患者さまには薬剤師からの服薬指導も行っています。患者さまの服薬指導を通して発見された問題点などは、医師、看護師などチームで相談をし、代替薬や用量・用法の変更など提案を行いながら、ケアにあたっています。

### 緩和ケアマニュアルの作成

緩和ケアは疼痛のみならず、様々な身体症状の緩和を行っていきます。手術や放射線、医薬品、それ以外のケアなど対処法はさまざま、注意しなければならない点も多くあります。その為、院内で素早く確認できる医療用麻薬の早見表作成や、緩和ケアマニュアルの作成などを行っています。その中で、医療用麻薬の換算表や使用方法、また鎮痛補助薬の種類や疼痛以外の身体症状に使用する医薬品に関しては特に薬剤師が積極的に関わっています。